

研究構想シート	学校名	邑南町立阿須那小学校
	氏名	錦織 篤史
A 研究主題 縦割り班（ファミリー班）での関わり合いを通した、コミュニケーション能力の育成		
B 研究の目的 縦割り班（ファミリー班）での活動を通したコミュニケーション能力の育成の方法を明らかにする。		
C 子どもの実態 ○素直で元気 ○体を動かすことが好き ○決まっていることや、見通しが持てるものや当番活動などは積極的に取り組める ○進んで感想発表することができる ○やりたいと思うことは協力できる ●気分がむらがあり自分勝手な言動がある ●諦めが早く粘り強く取り組むことができない ●計画力が乏しく見通しがもちにくい ●思うようにならなったり、上手くできなったり、分からなかったりすると表情や態度に出る ●漢字の読み書きや既習事項が定着していない	E 手立て・内容（研究仮説） ・ファミリー班での活動の充実（行事、児童会活動、当番活動など） ・ファミリー班での活動の中で話し合う機会や場を設定する ・ファミリー班での活動の中で互いに思いや考えを発表する機会や場を設定する  ファミリー班での活動を充実させれば、コミュニケーションを通してお互いの意見を認め合えたり、お互いに声をかけ合い粘り強く取り組んだりできる子が育つであろう	D めざす子どもの姿 ・自分の考えに固執するのではなく、多様な意見を受け止め、考えられる子ども ・上手いかず、すぐに結果がなくても、粘り強く取り組む子ども ・語彙力を伸ばし、相手に分かりやすく丁寧な言葉遣いでコミュニケーションがとれる子ども
	F 検証方法 ・活動中の児童の様子や活動後の感想発表などから児童の変容を見取る。 ・活動後に書く児童の振り返りから児童の変容を見取る。	
	G 研究計画 ・子どもの実態を共有し、めざす子どもの姿を設定する ・ファミリー班での活動の計画を考える（1学期） ・1学期の取り組みを振り返り、2学期の計画を考える ・2学期の取り組みを振り返り、3学期の計画を考える ・研究の取り組みをふり返る	